

# 10月1日 国勢調査



発行所 五所川原市役所  
電話(代) 2,111  
印刷所 青森民友新聞社

市の人口	8月現在
口	49,955
男	24,329
女	25,626
世帯数	9,454

## 調査員の質問にはありのまま答えて下さい

調査区は全市一九五  
調査員は一八一名です

今年の十月一日午前零時を期して全国一斉に「国勢調査」がおこなわれます。国勢調査は日本の国勢の実情を把握し、国の行政施策の基礎資料にするため、大正九年から五年ごとに行なわれてきました。

ことには九回目で十年目のごとくおこなわれる大規模調査に当たり同時に国連報告による一九六〇年世界人口センサス計画の一環でもあります。

総理府統計局の予算は十一億五千万円、調査員四十数万人、約二十四万枚の調査票用紙を使って調査をおこないます。

五所川原市でもこの調査に備えていろいろ準備が進められており、すでに調査区調査員が集められています。

### 国勢調査のしかた

この調査は全市を一九五の調査区に区切り、調査員一八一名が調査に当たります。調査はまず九月二十五日ごろ調査員が全世帯に調査票をくばります。くばられた調査票の「世帯主の記入」して印を押しておいてください。記入された調査票は十月一日から三日までに調査員が集めにまわります。

「常住地主義」という考え方をもち、調査員は調査票をくばるときに「世帯主」をその世帯の中心人物としておこなうこととします。

原則としてこの十月一日に五所川原市に住んでいる人はもちろん外国人も全部調査の対象になります。十月一日午前零時以後に死亡した人については、その人の生前の状態を調べることになります。

「常住地主義」という考え方をもち、調査員は調査票をくばるときに「世帯主」をその世帯の中心人物としておこなうこととします。

## 選挙名簿の調整始まる

### 申告をお忘れなく

選挙管理委員会では本年十月二十日から明年十二月十九日までの間に「おこなわれる各種選挙」における基本選挙人名簿の調整を始めます。まず住所の変更した人、本年脱税のため選挙出来なかつた人は九月中旬頃までに申告をお忘れなく申出てください。

●選挙資格の要件は次のとおりです。  
 (一)住所要件 本年六月十六日以前から引続き五所川原市に住んでいる人(九月十五日現在で三ヶ月以上)脱税および脱税の異議申立(本年十二月二十日現在で満二十歳)

いる人(世帯主)をその世帯ごとに調査してきます。ここでごだん住んでいる人は、その世帯主として三ヶ月以上住んでいるか、または最近移って来てまだ三ヶ月以上住んでいないが今後三ヶ月以上住むこととなる人のことです。

またまた旅行や出かせぎなどで一時不在の人、不在期間が三ヶ月以上ならわらないときは自宅を調査し、三ヶ月以上自宅を調査し、旅行先や出かせぎ先で調査した場合は、またまた泊りしているところ、二カ所以上ある人は泊る日数の多い方で調査します。

## 市農業委員会会長に 沢田精一氏を決定



八月四日初日の総会を開き、会長ならびに副会長、各部長を決定した。

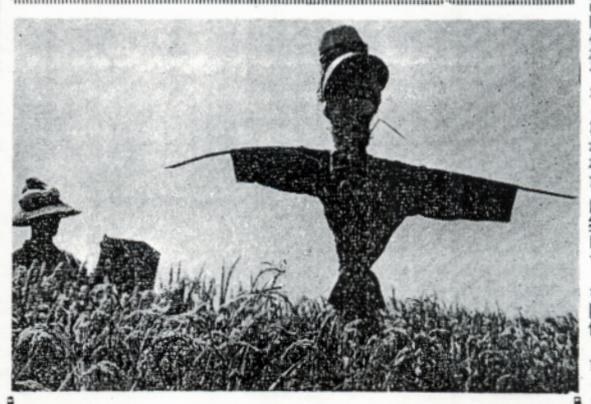
会長 沢田精一(鶴ヶ岡)  
 副会長 新井俊門(唐笠柳)  
 第一部長 福士太郎(高野)  
 第二部長 山本武太郎(銘尾)  
 第三部長 増田繁信(飯詰)

### 市消防団幹部講習会終了

市消防団幹部講習会は四日西郡高山神社でおこなわれた。

### 県農試の案内

九月二十二日 青森県農業試験場では去る七月二十二日、第一回案内デー、八月二日、第二回案内デーを開催した。



## 豊作の使者案山子の笑顔

黄金の庭で踊るおけさ  
 二百十日の厄日もなんのその  
 豊作の使者、案山子はびょうぼうたる黄金の庭で豊作祝のオケサ踊りをおどつている。

今開手を開いたところである。  
 地平線までどけと歌っている  
 「ハア六年続きの豊作だ 万作だ 闇を売らずに予約米を」  
 「ハア昔津軽の殿でも十万石 米の五所川原十五万石」  
 「ハア無駄をはぶいてくらをらくによ 使うことよりのためること」

### 婦人指導者の講習会

市婦人会連絡協議会主催の市内婦人団体指導者講習会は八月二十九、三十の両日青森県教育研究所長市田正治氏を講師に招き青森市新成の青年の家でおこなわれた。

### 納税組合に加入

市納税課では納税貯蓄組合の設立について呼びかけて参りましたが、おかげで税務課に対する認識も高まり、みなさんの協力により、本年八月末で「一組合」の組合員三十七名、がつく納税組合に加入しました。

### 擲出制国民年金

受付開始は十月一日から

### NHK巡回ラジオ体操

郵政省簡易保険局、日本放送協会、五所川原郵便局、五所川原市が主催してラジオ体操講習会が八月十七日午前六時三十分から五小校庭に約二千名が参加して盛大におこなわれた。

市納税課では納税貯蓄組合の設立について呼びかけて参りましたが、おかげで税務課に対する認識も高まり、みなさんの協力により、本年八月末で「一組合」の組合員三十七名、がつく納税組合に加入しました。

市納税課では納税貯蓄組合の設立について呼びかけて参りましたが、おかげで税務課に対する認識も高まり、みなさんの協力により、本年八月末で「一組合」の組合員三十七名、がつく納税組合に加入しました。

